



キララ商店街の空き店舗で
行われている学習支援事業

子ども貧困対策の強化を

増富 理津子 議員
(共産党)



地方創生 市内業者へ発注を

奥村 良太 議員
(自民・新風会)

厚労省が発表した子どもの貧困率は、16・3%と最悪を記録。ひとり親家庭や生活保護世帯、非正規労働者世帯への就労支援、経済的支援、学習支援の取り組み強化を。(健康福祉部長) 就労支援としてハローワークと連携した窓口を設け、支援員を増員し相談に応じている。経済支援として今後、「くらしの資金」と「更生資金」を合わせた制度を検討している。学習支援として、中学3年生を中心に商店街の空き店舗で週2日、今後は会場や募集対象を拡大したい。

障がいのある方で65歳以上の方、40歳以上で特定の病気により介護が必要になつた方については、介護保険

域の活性化にさまざまな取り組みをされているが、長引く不況で市内業者には非常に厳しい状況が続いている。市が発注する物品購入や役務提供工事請負において、適正な競争原理のもとに公平性を確保した上で、市内業者に発注することにより、市の財源が地元で循環し、地域経済の活性化と市内業者の育成に繋がるところであるが、市の見解は。

(建設部長) 特殊工事や専門的な工事など、市内業者では施工が難しい場合を除き、原則として市内業者を優先とした地域要件を設定している。(総務部長) 物品役務においても、基本的な考え方としている。

府が実施する天津神川の耐震工事に合わせて、新地区と田辺地区をつなぐ歩行者用トンネルを設置できないか。

天津神川の西側に居住されている方は、駅周辺へ出るのに不便である。これを改善するため、JR学研都市線が通りいる踏切付近にトンネルを設置できれば、高齢化する中で歩みよいまちづくりになると考るが、市の見解は。

(建設部長) JR学研都市線が通るトンネル、いわゆるマリボは、これを管理するJR西日本によると、構造上、現状での耐震性能を評価するのも難しいと聞いている。また、新たに歩行者用のトンネルを設置するとは構造上、河川管理上の安全性の観点から検討課題と考える。



市街化区域編入が計画されている松井地区の一部

JR大住駅にエレベーターを

青木 緝次郎 議員
(共産党)



打田のダンプ急増対策を

南部 登志子 議員
(無会派)

安保閣連法案は憲法違反といつ指摘への見解は、反対して認められる。市長さまである意見があり、関心も高い。憲法はしっかりと尊重する。安全保障と憲法はまた違つてだと考える。

手話を言語として認める手話言語条例の制定をする手話を言語として認めることを手話言語条例の充実を図る中で検討課題としている。

新田辺駅東側整備の進捗と今後の計画は、市民の声を反映するアンケートや懇談会等の取り組みを。また駅側の道路も傷んで危険な箇所がある。急いで補修、改修を。

東側は、地元との協議を継続して行っている。

道路補修は、周辺の調査も行い早急に整備していく。

普賢寺地域の課題について。(打田地区では、ダンプの通行量が1日200台以上と急増しており、その数は今後も増加すると予測される。また、県境で急増する騒音や振動による生活被害が始まっている現在、市が工事施行者等に安全運転を求めるべき。また、県境で急増する工事への対策を求める。(中間地域の救急救命率向上のため、早期に消防署の南部出張所の設置を求める。(災害時には、中山間地域が陸の孤島になる可能性がある。近隣市町と避難所相互利用協定を結ぶなどして、市外へも避難できるようにすべき。(耕作放棄地解消に有効とされる天王柿栽培への土壤整備支援を求める。

(建設部長) 地元府議を通じて、管理者へ要望する。

市長の説明と協議をしていく。

市長の説明と協議をしていく。

JR松井山手駅前から松井ヶ丘への階段にスロープを。

JR松井山手駟前から松井ヶ丘への階段にスロープを。

JR松井山手駟前から松井ヶ丘への階段にスロープ